

交換留学帰国報告書

記入 | 2023年6月

所属 & 学年 | 情報学部 人間・社会情報学科4年

卒業予定 | 2024年3月

留学先大学	ミネソタ大学
留学先国	アメリカ
留学期間	約8ヶ月 (4年次に留学)
留学開始 - 終了	2022年 8月 24日 - 2023年 5月 24日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

【アメリカを選んだ理由】

- IT系のデザインの分野では世界で一番進んでいると思ったから。

【ミネソタ大学を選んだ理由】

- デザイン学部があり、自分が学びたいUXデザイン(ユーザーが製品やサービスを使う際に得る体験を最適化するためのデザインプロセス)を学べるから。
- 大学ランキングが比較的高いから。
- 都市部にあって便利そうだから。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

- 将来海外の大学院に進みたいと思っており、その準備として費用・期間・内容の面で交換留学が最適だと思ったから。

- 名古屋大学では学べないデザインを学びたいと思ったから。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的&期間など
アメリカ	高校2年生	観光で1週間程度
シンガポール	大学学部4年	Tongaliの海外研修

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

半年ほど前。夏休みに名古屋大学経由でモナシュ大学のオンライン講座に参加しながらIELTSの学習を始めました。

⑤海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

志望動機の作成などの際に相談に乗っていただきました。親身に対応していただけたのでありがたかったです。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

IELTSを3回受けました(9月末に1回, 10月末に2回)。対策期間が3ヶ月ほどしか取れなかったため、Udemyの講座でWritingの型を身につけ、ReadingとListeningは予想問題を用いて形式に慣れることに集中しました。Speakingは伸ばすのが難しそうだったのであまり対策しませんでした。

使った講座↓

[Mastering IELTS Writing: Task 1 \(Academic\)](#)

[Mastering IELTS Writing Task 2: Complete Band 7+ Preparation](#)

[Mastering IELTS Writing: Task 1 Academic \(Band 9 Answers\)](#)

[Mastering IELTS Writing: Task 2 \(Band 9 Model Answers\)](#)

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

【秋学期】

- ARTS 1701 Introduction to Photography (4単位)
- DES 3131 User Experience in Design (4単位)
- MGMT 3015 Introduction to Entrepreneurship (4単位)

【春学期】

- ARTS 3730 Intermediate Digital Photography (4単位)
- DES 5185 Human Factors in Design (3単位)
- IDSC 3101 Introduction to Programming (2単位)
- IDSC 3102 Intermediate Programming(2単位)
- IDSC 3103 Data Modeling(2単位)

授業はすべて対面で行われました。秋学期はUXデザイン、写真、アントレプレナーシップの講義を履修し、春学期は大学院のデザイン系の講義に挑戦しつつ、帰国後の研究に向けてプログラミングなどの講義も履修しました。プログラミングの講義はビジネススクールが開講しているものを選んだので、プログラミングの技術を学んだ後にグループでビジネスプランを考えて発表するというような形式でした。

交換留学生は履修登録を他の学生が終えた後に行う必要があることや、専攻による履修制限などがあり、なかなか履修したい講義が登録できず、そこには少し不満を抱きました。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

分からないことがあったら先生やクラスメイトに聞くように心がけていました。プログラミングなどではYouTubeの動画を観たり、プログラミングの概念に関する疑問やエラーの対処法をChat GPTに聞いたりして解決することもありました。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

デザイン系の授業ではリーディング課題が多く、すべて読む時間がなかったので授業で使いそうなところや重要そうなところだけを読むようにしました。読んでもすべてを暗記することはできないので、この点は割り切っていました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

ダウンタウンまで電車で5分の距離にありながらキャンパスは広大で、緑も多く、リス、ウサギ、七面鳥などの動物もたくさんいました。冬は長くて寒いですが、乾燥しているので気温ほどには寒く感じませんでした。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

インターネットは十分に速く、安定しています。キャンパス内にジム、食堂、レストラン、薬局などもあります。ダウンタウンも近く、全米最大級のモールも電車で1時間(車で20分)くらいのところにあるので、生活には困らないと思います。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

グループワークが多かったので、そこで友人を作り、一緒に旅行に行ったり食事をしたりしました。大きなカメラを持って写真を撮って回っていたので、そこで話しかけられて知り合うことも何回かありました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

長期休暇はアメリカ各地とカナダを旅行しました。ミネソタ州はアメリカの中央にあるので、いろいろなところに行きやすいです。私は休みごとに中西部、西、北西、北東、というように方面を決めてまとめて訪れました。

- Thanksgiving break : シカゴ
- Winter break : ロサンゼルス→ラスベガス→グランドキャニオン→フェニックス→サンフランシスコ→デンバー
(ラスベガスで車を借りてグランドキャニオン経由でフェニックスに行きました)
- Spring break : シアトル→バンクーバー→シアトル
(飛行機でカナダに行くと時間とお金がかかるのでシアトルから車で行きました)
- 交換留学終了後 : ワシントンD.C.→ニューヨーク→ボストン

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

手洗いうがいをしっかりしていました。睡眠も取れる時はしっかり取っていました。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

バンクーバーでコロナの症状が出たのでオンライン診察を受けて近所の薬局で薬をもらいました。保険でカバーされたので無料でした。

③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：麻疹、おたふくかぜ、風疹、Tdap、髄膜炎、コロナウイルス）

いいえ

F.住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	(1) 人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

持参すべきものは特にありません。都市部なので大抵のものは手に入ります。日本食などもアジア系のスーパーで購入できます。ユニクロの店舗はミネソタに無いので、ユニクロの服は日本から持って行ったほうが良いかもしれません。

持参しなくても良かったと思うものはカイロです。

④参考となる留学先国の情報（出版物、webサイト）を教えてください。

G. 留学費用について

①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

留学前に寮の希望を提出する必要がありますが、Centennial Hallはコスパが悪いので避けたほうがいいです。築70年以上と古くて設備があまり充実していない割に家賃は月額1000ドル以上する上、キッチンが無いので月額600ドル以上するミールプランに強制加入させられます。

②奨学金は受給していましたか。

はい （奨学金名：業務スーパージャパンドリーム財団 奨学金 支給額：120万円）

（奨学金名：大学間交流協定校への交換留学に係る名古屋大学海外留学奨励制度
支給額：20万円）

いいえ

③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	19万6000円	ZIP AIR を使うとミネアポリスまで片道10万円に収まります。
保険代	30万円	日本の保険とキャンパス保険の二重加入
予防接種・ビザ代	11万円	
住居費	14万円	1人部屋(風呂トイレはフロアで共有)
食費	8万円	ミールプラン(食べ放題)
教科書代	1万円	
SIMカード	月10ドル	Mint Mobile

旅行費	60万円	15都市くらい回った合計。知人の家に泊まったり、航空券が安い時期を狙って費用を抑えました。
-----	------	---

H.今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

進学

就職

その他（ ）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対する考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学前は学部卒業後すぐに海外の大学院に進学することを考えていましたが、現在は一度日本で数年働いてから海外の大学院に進学しようと思うようになりました。

今回の留学中に大学院の講義に参加してみて、デザイン系の大学院では就業経験がある人が多いことがわかりました。海外での就職を目指す私にとって、大学院に進学した際には高い成績を残すことが重要になりますが、今の自分では語学力だけでなく知識の面でも彼らに勝てる公算は小さいように思いました。現時点では日本で働いた経験も少ないので、日本人デザイナーとしてのユニークさもあまり出せません。

逆に、数年間日本の企業でデザイナーとして働けば、基本的なデザイン能力の向上だけでなく、日本のデザインについての知見を深めることもできますし、資金的にも余裕を持って留学に臨むことができます。また、レベルの高い大学院に合格できる確率も高まります。

そのため、一度日本で就職してから改めて大学院への進学を目指すことにしようと思います。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

I. 留学を終えて感じること

① 留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

日本の良さがわかるようになりました。特に、日本人が生活の中で当たり前享受着いるサービスの質は非常に高いことに気がつきました。細かいところまで配慮が行き届いていることが多く、ちゃんと使う人のことを考えて作っていることが感じられます。逆にアメリカはやっつけ仕事のように思えるデザインが多く、一部を除いて非常に使いにくい製品やサービスで溢れていました。

海外に良いデザインを学びに行ったつもりが、逆に日本のデザインのレベルの高さを知る結果となったのは意外でした。

② 留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

将来に対する見通しがより具体的になったように思います。

③ 現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

交換留学すれば費用をかなり抑えて海外の大学に通えるので、海外に興味がある人は挑戦してみると良いと思います。

◆自由記述欄◆

渡航先の大学や留学の様子がわかる写真（メール添付でも可）を下記へ、ぜひ共有してください。報告書はウェブや印刷物として公開するため被写体の人物へ使用についてあらかじめ確認をお願いします。

↓↓↓

